



日本で一番質の高い
“食” & “ホスピタリティ” グループへ



第66期 中間報告書

2014年1月1日 ▶ 2014年6月30日

ROYAL

ロイヤルホールディングス株式会社

証券コード ● 8179

ロイヤル経営基本理念

ロイヤルは食品企業である。
 お客様から代金を頂くからには、
 一、食品は美味しくなければならない。
 一、調理・製造も取扱いも衛生的でなければならない。
 一、サービス販売は、お客様の心を楽しませ、
 社会を明るくするものでなければならない。
 以上のつとめを果たす報酬として、正当な利潤を得られ、
 ロイヤルも私共も永遠に繁栄する。

1956年(昭和31年)6月制定

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

「第66期 中間報告書」をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当社グループが主力とする外食事業を取り巻く環境は、デフレ脱却が進むとともに、価格より価値を重視する消費者心理の変化が見られるなか、円安等による原材料価格やエネルギーコストの上昇、景気回復傾向にともなう人材不足と人件費関連コスト等の上昇もあり、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような環境の下、当社グループは、日

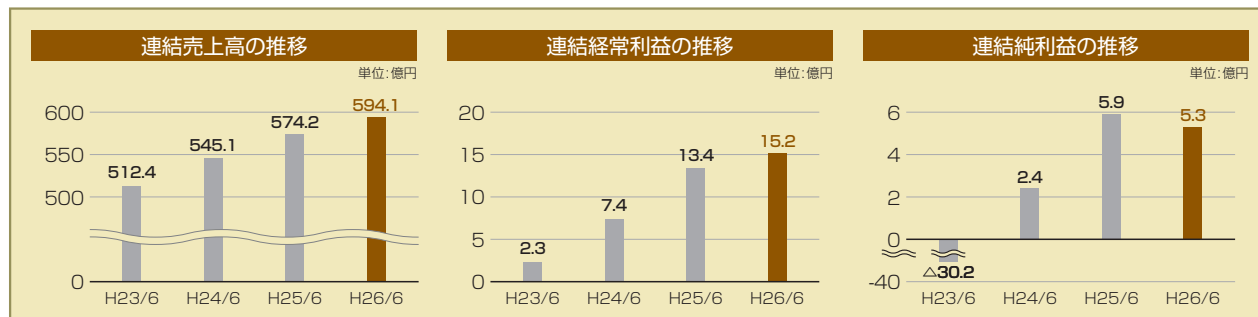
本で一番質の高い“食” & “ホスピタリティ”グループを目指し、中期経営計画「Fly to 2014」の最終年度となる本年度におきましても、増収増益を今後も安定的に継続できるよう、引き続き経営基本理念の実践に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



平成26年9月
 代表取締役社長 菊地 唯夫

連結決算ハイライト(中間)



当社グループでは、今後見込まれる経営環境の変化と外食産業の構造的課題を踏まえ、平成23年11月に持続的な成長を基本方針とした中期経営計画「Fly to 2014」を策定いたしました。

その最終年度にあたる平成26年度におきましては、「成長路線の収実化」をキーワードに6つの事業戦略(①「ロイヤルブランドの再構築」②「成長エンジンの育成」③「収益基盤の拡大」④「時代対応業態の開発と進化」⑤「事業開発機能の強化」⑥「M&Aの活用・海外への進出」)と2つのインフラ戦略(①「インフラの強化とグループシナジーの追求」②「効率経営体への転換」)を

骨子とした各種経営施策を着実に進めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は59,417百万円(前年同期比+3.5%)、営業利益は1,417百万円(前年同期比+19.5%)、経常利益は1,526百万円(前年同期比+13.3%)と増収増益となりました。なお、特別損益として店舗の改装等に伴う固定資産除売却損153百万円など総額245百万円を特別損失に計上したほか、法人税等727百万円を計上し、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は533百万円(前年同期比△10.3%)となりました。

● 事業別の概況

外食事業

売上高 29,725百万円

- 12店舗(国内外のフランチャイズを含む)を出店
- 「ロイヤルホスト」は、日本の食材に着目した「Good JAPAN」という方針を掲げ、『瀬戸内・土佐めぐりフェア』を実施。また、食における健康志向の高まりと多様化するニーズに応え、健康と美味しさをテーマとした『サンシャインランチ』の販売店舗数を拡大
- 「天丼てんや」は、直営店舗5店舗と前期より本格展開を開始した国内フランチャイズ3店舗、海外フランチャイズ2店舗を出店

コントラクト事業

売上高 14,829百万円

- 法人からの委託等により、空港ターミナルビル、高速道路サービスエリア、大型商業施設、オフィスビル等において、多種多様な飲食業態を展開
- 官公庁・法人向け飲食施設内など、新規に10店舗を出店
- 空港ターミナルビルの利用者増加に伴い売上が増加

機内食事業

売上高 4,186百万円

- 新規の顧客獲得による売上の増加
- 訪日外国人や国内利用客の増加による搭乗率の上昇によって売上が増加

ホテル事業

売上高 9,189百万円

- 高い顧客満足度を背景に客室稼働率が高く推移し、前期開業した「リッチモンドホテルなんば大国町」が売上増加に寄与
- 本年度より開始した、フレンドシップホテル展開事業のパートナーホテル第1号ホテル「釧路ロイヤルイン」における運用を開始

食品事業

売上高 4,378百万円

- 外食インフラ機能として主に外食事業とコントラクト事業に対する食品製造、購買、物流事業のほか、一部グループ外向け製品を製造
- 外食事業を中心としたグループ内向け食品製造が増加

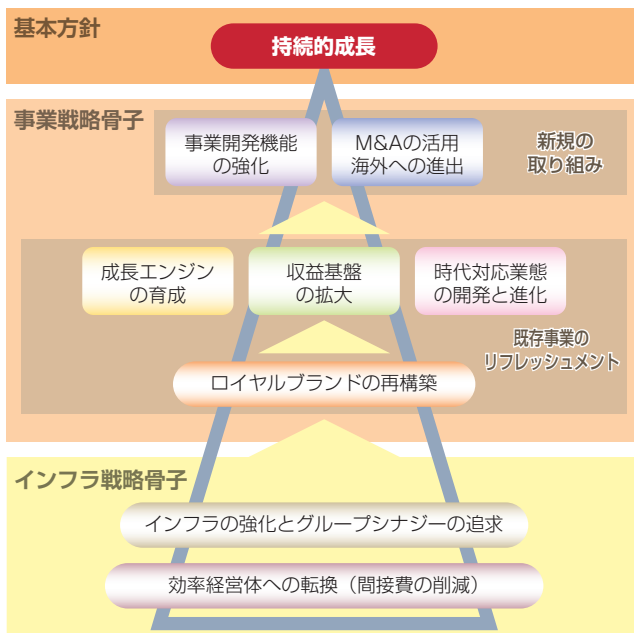
(注) ここまでに記載の売上高には、その他の営業収入を含めております。

中期経営計画「Fly to 2014」

当社グループでは「ロイヤルグループ経営ビジョン2020」において『「お客様の満足」を最大の目標とし、時代の変化にしなやかに対応する日本で一番質の高い“食” & “ホスピタリティ” グループを目指す』というグループビジョンを掲げております。

中期経営計画は、「経営ビジョン」の実現に向けた三段階の中期経営計画の第一段階と位置付け、「持続的成長」「増収増益の確保」「効率経営体への転換」を柱とした各種施策を展開しており、中期経営計画「Fly to 2014」の最終年度となる本年度は、増収増益基調をより確かなものとすることを念頭に各種経営施策の実施に努めております。景気は緩やかな回復基調が続いていくことが期待されている中、今後もロイヤルグループは持続性のある成長路線の道筋を描いてまいります。

【基本方針と戦略骨子】



ロイヤルブランドの再構築

ロイヤルホストは地域で一番愛されるコミュニティレストランとして進化します

ロイヤルホストは、昨年2年連続で既存店売上高前年比100%超えを達成いたしました。今年に入ってから引き続き前年を上回る水準で好調に推移しており、ロイヤルホストの取組みがお客様にご支持いただけた結果と考えております。

本年は、新しいコンセプトのロイヤルホストとして、上質で豊かな時間を過ごせる食の空間づくりを目指した、「プレミアムロイヤルホスト」1号店を4月に福岡住吉に出店、7月には2号店を東京駒込に出店いたしました。また、野菜と一緒にロイヤルホストの強みであるカレーをはじめとした本格的な料理を気軽にバランスよく楽しんでいただく「スパイスプラス」2号店を7月に横浜に出店いたしました。今後もロイヤルホストは、お客様のさまざまな利用動機に応える、地域に根ざしたレストランとして新しい価値の創造に向けて進化してまいります。



天井てんや 国内フランチャイズ展開をスタート

天井・天ぶらチェーン「てんや」は、国内フランチャイズとして4月に金沢、5月に東静岡、6月に仙台、7月に名古屋と相次いでオープンいたしました。引き続き、新しいパートナーとのフランチャイズ出店を進めています。

海外においては、6月にタイ3号店、インドネシア1号店をジャカルタにオープンしました。天井てんやは、「あなたの街のてんやです。」をモットーに、地域のお客様に喜んでいただけるよう感謝の気持ちを忘れず、お客様の感動づくりに挑戦し続ける店舗運営を目指してまいります。



新たな業態の開発と進化

ロイヤルグループで専門店事業を展開するアールアンドケーフードサービス株式会社は、6月に開業した虎ノ門ヒルズ（東京都港区）に、2013年に1号店をオープンしたStandard Coffeeを、「THE 3RD CAFÉ by Standard Coffee」として2号店を出店しました。

Standard Coffeeは、「NEW CLASSICS」というコンセプトのもと、伝統と新しさを融合し、世代を超え“心地よい上質”を求める方々に楽しんでいただけるカフェスタイルを目指してまいります。



■ 四半期連結財務諸表（要旨）

四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	前期末	当第2四半期	
	H25.12.31 現在	連結会計期間末 H26.6.30 現在	
資産の部	流動資産	15,877	15,221
	固定資産	63,705	63,533
	有形固定資産	36,575	36,757
	無形固定資産	770	782
	投資その他の資産	26,359	25,993
資産合計	79,583	78,754	
負債の部	流動負債	17,046	17,581
	固定負債	19,199	18,190
	負債合計	36,245	35,771
純資産の部	株主資本	41,180	41,165
	資本金	13,676	13,676
	資本剰余金	23,918	23,918
	利益剰余金	6,521	6,506
	自己株式	△ 2,935	△ 2,936
	その他の包括利益累計額	1,548	1,226
	少数株主持分	609	591
	純資産合計	43,338	42,983
負債・純資産合計	79,583	78,754	

四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

科 目	前第2四半期	当第2四半期
	連結累計期間 H25.1.1 ▶ H25.6.30	連結累計期間 H26.1.1 ▶ H26.6.30
売上高	56,387	58,251
売上原価	18,049	18,823
売上総利益	38,338	39,428
その他の営業収入	1,042	1,165
営業総利益	39,380	40,593
販売費及び一般管理費	38,194	39,176
営業利益	1,185	1,417
営業外収益	416	368
営業外費用	255	258
経常利益	1,346	1,526
特別利益	73	—
特別損失	232	245
税金等調整前四半期純利益	1,188	1,280
法人税等	577	727
少数株主損益調整前四半期純利益	610	553
少数株主利益	15	19
四半期純利益	594	533

株式会社関西インフライトケイタリング

関西国際空港で機内食事業を運営する株式会社関西インフライトケイタリングは、国際的な機内食会社監査プログラム QSAI(Quality & Safety Alliance Inflight Services)において、2013年度「ワールドワイド・プラチナ賞」ならびに「アジア太平洋地域・金賞」を2012年に引き続き2年連続で受賞しました。QSAIは、世界50カ国300カ所の施設を対象に、衛生・品質監査を実施しており、関西インフライトケイタリングの従業員一人ひとりが、衛生管理、品質向上に努め、顧客航空会社の搭乗客・乗務員の皆様に対し、安全で高品質な機内食の提供を継続していることが評価されたものです。



アールエヌティーホテルズ株式会社

ロイヤルグループでホテル事業を担うアールエヌティーホテルズ株式会社は、8月にリッチモンドホテル東京水道橋を開業しました。直営ホテルとしては全国33店舗目となり、東京都内では、2012年3月開業のリッチモンドホテル浅草以来の4店舗目となります。



アールエヌティーホテルズは“ひとと自然にやさしい、常にお客さまのために進化するホテル”を経営理念に掲げており、この理念のもと昨年12月オープンのならび大国町に続き、館内照明に全てLEDを使用しました。また、屋上には安価な深夜電力を利用する貯湯システムを導入しエコロジー運営を目指しています。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
	H25.1.1 ▶ H25.6.30	H26.1.1 ▶ H26.6.30
営業活動による キャッシュ・フロー	2,386	2,581
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,666	△ 2,630
財務活動による キャッシュ・フロー	1,152	119
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 127	70
現金及び現金同等物の 期首残高	4,964	4,857
現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,836	4,927

ロイヤル株式会社

ロイヤル株式会社の製造商品が、2014年モンドセレクションにおいて、各賞を受賞いたしました。

優秀品質最高金賞(グランドゴールドメダル) ざらめ醤油ロールケーキ
2013年3月より販売を開始し、初出品で最も評価の高い優秀品質最高金賞を受賞いたしました。ヤマサ醤油の黒蜜風醤油をスポンジに練り込んだ香ばしい生地で、ホイップクリームを巻き上げました。醤油の風味と表面にトッピングしたザラメとの甘さと食感とのバランスが絶妙なケーキです。

優秀品質金賞(ゴールドメダル)

ロイヤルスイートポテト 5年連続受賞
ロイヤルバウムクーヘン 3年連続受賞

いずれの商品も、ロイヤルオンライン
ショッピングで販売中です。

(URL <http://www.shoproyal.jp>)



会社の概況

● 会社概要 (平成26年6月30日現在)

会 社 名	ロイヤルホールディングス株式会社 (英文名 ROYAL HOLDINGS Co., Ltd.)
設 立	昭和25年4月
資 本 金	13,676,179,700円
従 業 員 数	連結 2,440名
東 京 本 部	東京都世田谷区桜新町一丁目34番6号
本 社	福岡県福岡市博多区那珂三丁目28番5号
事 業 内 容	グループの経営を統括・管理する 純粋持株会社

● 役 員 (平成26年6月30日現在)

取締役

代表取締役社長	菊 地 唯 夫
専務取締役	矢 崎 精 二
取 締 役	野々村 彰 人
取 締 役	黒 須 康 宏
取 締 役	木 村 公 篤
取 締 役	貴 堂 聡
取締役相談役	富 永 真 理
社外取締役	末 吉 紀 雄

監査役

常 勤 監 査 役	浦 一 馬
常 勤 監 査 役	小 村 吾 郎
社 外 監 査 役	久保田 康 史
社 外 監 査 役	渡 辺 佳 夫

株主優待制度 詳細は <http://www.royal-holdings.co.jp/ir/stockholder/>

対 象	毎年6月末および12月末現在の株主名簿に記載された 100株以上ご所有の株主の皆様。
内 容	6月末の株主様には9月中旬に、12月末の株主様には3 月下旬にそれぞれ、株式数に応じて「株主ご優待券」を ご送付申し上げます。

ご所有株式数	株主ご優待券
100株以上500株未満	年間 1,000円分 (500円×1枚×2回)
500株以上1,000株未満	年間 10,000円分 (500円×10枚×2回)
1,000株以上 (一律)	年間 24,000円分 (500円×24枚×2回)

株式の情報

平成26年6月30日現在

Shareholders Information

株式の状況

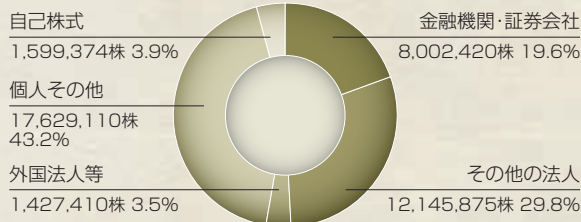
発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	40,804,189株
単元株式数	100株
株主数	20,669名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
キルロイ興産株式会社	3,174	8.10
公益財団法人江頭ホスピタリティ事業振興財団	2,452	6.25
株式会社ダスキン	1,400	3.57
コカ・コーラウエスト株式会社	962	2.45
株式会社西日本シティ銀行	955	2.44
日本生命保険相互会社	935	2.39
株式会社福岡銀行	833	2.13
ハンナン株式会社	692	1.77
株式会社三越伊勢丹	681	1.74
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	640	1.63

(注) 当社は、自己株式1,599千株を所有しております。上記の持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当金 毎年12月31日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 (http://www.royal-holdings.co.jp/)
上場取引所	東京証券取引所第一部 福岡証券取引所

株式に関する各種手続き

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求・買増請求等の各種お手続きは、口座を開設されている証券会社宛にお願いいたします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

※平成22年5月1日に株式会社テン コーポレーションとの株式交換に伴う株式の割当により当社株主となられた株主様のうち、証券会社に口座を開設されていない株主様のご連絡先は、以下のとおりです。

特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-288-324

IRサイトのご案内

アドレス <http://www.royal-holdings.co.jp/ir/>

ロイヤルホールディングス株式会社

〒154-8584 東京都世田谷区桜新町一丁目34番6号
電話：(03) 5707-8830



この冊子は、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています